

レジメン番号	0025	レジメン名	DLd 療法 1-2 サイクル
登録診療科	血液・腫瘍内科	使用薬剤	ダラザレックス、レブラミド、デキサート/レナデックス
がん腫	多発性骨髄腫	インターバル日数	28 日

【投与量・投与スケジュール】

薬品名 投与量/体表面積	投与方法	患者 投与量	Day1 ( / )	Day2 ( / )	Day8 ( / )	Day9 ( / )	Day15 ( / )	Day16 ( / )	Day21 ( / )	Day22 ( / )	Day23 ( / )	4 週間を 1 コース
ダラザレックス 16mg/kg	点滴	mg	↓		↓		↓			↓		
レブラミド 25mg/日 ※1	経口	mg	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
デキサート/ レナデックス 20mg/日 ※2	点滴 または 経口	mg	↓	↓	↓	↓	↓	↓		↓	↓	

(支持療法)

※3 Day1,8,15,22 経口剤あり

【当日の投与方法】

薬品名	規格	希釈液/量	投与速度/方法
① ダラザレックス	100mg	生食	※4 下記参照/輸注ポンプ
	400mg	初回 1000ml 2回目以降 500ml	
② デキサート	3.3mg	生食 100ml	15分/点滴
③ 生食	500ml		メインルート/持続 初回：20ml/h、2回目以降：50ml/h

投与間隔≫ (メインルート/持続) (側管 15分) (側管※4)  
 投与順番≫ ③ → ② → ① → 終了

②は①投与 1～3 時間前までに投与終了

【備考】

※1 レブラミドは毒性に応じて調節

CLcr が 60ml/min を超える患者には 25mg を、30～60ml/min の患者には 10mg 投与

※2 75 歳を超える又は過少体重 (BMI : 18.5kg/m<sup>2</sup>未満) の患者にはデキサメタゾンを 20mg/週で投与可

※3 ダラザレックス投与 1～3 時間前に、解熱鎮痛剤 (アセトアミノフェン 1000mg) 及び抗ヒスタミン剤の予防投与を行う

※4 ダラザレックス投与速度

注 1 : 初回投与開始時から 3 時間以内に infusion reaction が認められなかった場合、500ml とすることができる。

投与時期	希釈後の総量	投与開始からの投与速度 (ml/時間)			
		0～1 時間	1～2 時間	2～3 時間	3 時間以降
初回投与	1000ml	50	100	150	200
2 回目投与	500ml <sup>注 1</sup>				